

テーマ： 『共に学びを創り、問い続ける子どもの育成』

相模原市立大野台中央小学校

Tel. 042-755-0021

担当者： 堀江 春雄



■実践内容:

大野台中央小学校では、自然・人・ものとのふれあいという体験や活動の中で、環境問題について、「何を」「どのように」という明確な問題意識や解決の見通しをもち、実際的な問題解決を総合的な学習の時間で取り組みました。実践した主な内容は、「有機栽培に挑戦して、環境を考える：土づくりや害虫問題、栽培、販売、啓発」「大野台地区と日光地区と比較して環境問題を考える：足尾の環境問題、植樹」「大野台の環境を見直し、よりよい大野台の環境を創る：こもればの森の環境保全、ゴミ問題、大気汚染、地球温暖化」です。

■実践成果:

- ・自分たちが住む地区の環境を他地域と比べることで、よさや課題が見えてきました。
- ・人事ではなく自分の問題として環境について、地域ボランティア活動に進んで参加する意識や共に活動することができました。
- ・地球規模の環境問題も自分の地域を主体としてどんなことができるかを考え、環境ボランティアと共に実践できました。

■実践ポイント:

「自然・人の生き方・文化や社会」から学ぶという考えに立ち、その学びから自分を取り巻く環境を見つめ直し、よりよく改善しようとする力を見つけさせるために、有機栽培や修学旅行での足尾地区での植樹、地域・環境ボランティアへの参加という具体的な活動場面を設定しました。このような活動は子どもの内面的な成長から環境問題に対する意識の高まりをもたせることができます。